

川根本町 図書室だより

4月

2023年4月号

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(16日)・祝日の翌日(30日)
- ☆ やまびこ号巡回コースは



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

新 着 図 書

『がんを治す心のスイッチ』

島倉秀也 著 現代書林

がんが自然治癒する仕組み

文



早期発見・早期治療しても、その後
にがんが再発する人がいる。
その一方で、ステージ4と診断され
た末期がんでも、がんの進行が止
まり、元気になる人がいるのはなぜ
なのか？
その理由に気が付いた消化器内科
の専門医が自然治癒力を高めるがん
の治療法を紹介する。

『世界にひとつだけの洋服と小物』

吉田三世 著 ワニブックス

1着=300円からの古きもで作る

山



唯一無二の古いきものを選んで、
買って、ほどこいて、洗って、新しい
作品を作る喜び。世界にひとつし
かない、あなただけの洋服や小
物を、作ってみませんか？
72歳の人気YouTuberが素材のき
ものを選ぶときに気をつけている、
ちょっとしたコツやリメイクの基本
を紹介。

『終止符のない人生』

反田恭平 著 幻冬舎

夢を叶えた瞬間からすべてが始まる

文

日本人として51年ぶりのショパン
国際ピアノコンクール2位の快挙、
自身のレーベル設立、日本初“株
式会社”オーケストラの結成、クラ
シック界のDX化。
脚光を浴びる若き天才は次代の
革命家でもあった。
いま世界が目にする音楽家の軌
跡と未来



『禁断の中国史』

百田尚樹 著 飛鳥新社

あまりに衝撃的な史実

山

「本書を読めば、読者の皆さん
は「中国」と「中国人」の本質を
知ることになるでしょう。あなた
の中の誤った中国像が音を立
てて崩れていくかもしれません。
しかしこれが中国の真の姿な
のです」(まえがきより)
ベストセラー作家・百田尚樹、
初のR15指定本! 中国4000年
のタブーを全て暴く!



CD



文

『凱旋コンサート』
反田恭平

山

『大河ドラマ全曲集
1963~2022』

◎ 新着図書

🔍 新刊の詳しい情報は、【川根本町図書ネット】で検索。または、右記QRコードよりご確認ください。



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ



図書日より
バックナンバー

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>●『荒地の家族』 佐藤厚志 著 新潮社 40歳の植木職人・坂井祐治は、あの災厄の二年後に妻を病気で喪い、仕事道具もさらわれ苦しい日々を過ごす。地元の友人も、くすぶった境遇には変わらない。誰もが何かを失い、元の生活には決して戻らない。仙台在住の書店員作家が描く、止むことのない渴きと痛み。</p>	<p>●『風を紡ぐ』 あさのあつこ 著 実業之日本社 深川の縫箔(刺繍)屋・丸仙の娘、おちえの竹刀が盗まれた。おちえの父が本店のため縫い上げた花嫁衣裳にも不穏な影が忍び寄る。剣の達人であった職人・一居(いちい)もその気配に気づくことができなかった賊の意外な正体は!?</p>
<p>●『よき時を思う』 宮本輝 著 集英社 九十歳の記念に祖母が計画した、豪華絢爛な晩餐会。孫の綾乃は祖母の生涯を辿り、秘められた苦難と情熱を知る。一人の命が、今ここに在ることの奇跡が胸に響く感動長編。</p>	<p>●『やわ肌くらべ』 奥山景布子 著 中央公論新社 「明星」を創刊し、数多の才能を育てた与謝野鉄幹。その人生には、彼に身も心も翻弄された女性たちがいた。女たちのふしぎな連帯、そして鉄幹を凌ぐ歌人となった与謝野晶子の壮絶な運命とは。自らの足で歩み始めた明治女性たちの不屈の歴史恋愛長篇。</p>
<p>●『パレードのシステム』 高山羽根子 著 講談社 祖父の自死をきっかけに地元に戻った美術家の私。祖父が日本の植民地だった戦前の台湾に生まれ育った「湾生」と呼ばれる子どもだったことを知る。知人に誘われるまま台湾を訪れ、異文化に触れ・・・。</p>	<p>●『残照』 田中芳樹 著 祥伝社 七百以上の城を陥し「神人」と畏怖された不敗の男、郭侃。モンゴル軍を率いた漢人武將は「海に沈む夕日を見たい」という一つの夢を叶えるために地の涯を目指す。歴史に埋もれた智勇兼備の名將の一生を描く!</p>
<p>●『固結び』 山本一力 著 文藝春秋 初午の真夜中、喜八郎たちのすぐそばで、男女が川に飛び込んだ。たまさか女を助けた喜八郎は、ふたりが奉公先の賭場で恋仲になった挙げ句に心中を図ったと知る。賭場で恋仲はご法度だが、なんとか女を救おうと、喜八郎は賭場の貸元と直談判に及ぶが.....。</p>	<p>●『書楼弔堂 待宵』 京極夏彦 著 集英社 明治30年代後半、古今東西のあらゆる本が揃うと評判の書舗に迷える者達が、己の一冊を求め“探書”に訪れる。日露戦争の足音が聞こえる激動の時代に、本と人との繋がりを見つめなおす。</p>
<p>●『かんたん手づくり防災グッズ』 木原実 作 日本図書センター 家にあるものや100円ショップ、コンビニなどで手に入るもので作れる簡単防災グッズとかんたんにマネできる防災テクニックを紹介。</p> 	<p>●『ひらがなちょうとカタカナマチ』 たかはしゆい 作 たかはしのぞみ 画 ひらがなだらけのひらがなちょうと、カタカナだらけのカタカナマチ。二つの町の町長さんは仲が悪かった・・・。文字を楽しく学べる絵本。</p> 



『神様仏様とつながるための基本のき』

桜井識子 著 PHP研究所

神仏にいただける「ご加護」や「ごりやく」を知らずにはもったいない。

神様・仏様・お稲荷さん・天狗・龍神...。その姿を見ることができ会話もできるという著者が、神仏世界の基本的なことを教えてください。驚くほどたくさんある基本の中でも大事なことを優先して書いたという本書。今まで知らなかったことが満載です。

山岳系神様は高い山の上や連なった山岳地帯にいて、地上にいる神様の中で一番神格が高く、パワーやエネルギーも強大で奇跡も起こせること。座敷わらしは、見た目は5~7歳くらいの男の子と女の子で、昔の粗末な服を着ていて、現在は住みつくのではなく、殆どの座敷わらしは気に入った家をいくつも見つけ定期的に巡回していること。参拝の時の服装は、上下とも黒を身に着けた黒い装束だと失礼にあたること。

他にも、イジメをするとどうなるかとか、心根の良くない人なのにお金持ちなのはなぜなのか等、とても興味深い内容になっています。 図書室スタッフH



山村開発センター図書室所蔵